

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線323)
FAX63-5139

おたよりがタビタビ

♥幸田産のお米や食材などを給食に利用はできないのでしょうか？

主食については、県教育委員会が一括管理しているため、幸田町産のお米を指定することは難しいですが、経済連を通し、幸田町産のお米も学校給食に使われています。

副食については、以前から地元産の食材を地元で消費する「地産地消」に取り組んでおり、平成15年度には幸田町産のナスを4回、梨・ミカン各2回、イチゴは1回使用しました。今年度は、ナス8回、梨2回、筆柿・しいたけ・ミカン・イチゴ・大豆を各1回予定しています。(学校教育課)



知って得するくらしの

知恵袋

保存がきいて値段も手ごろな缶詰。最近は種類も豊富になって、ますます便利になりました。

中身が見えない缶詰を買うときは、たたいてカンカンと良い音がするものを選びましょう。真空度が高く、新鮮な証拠です。缶がふくれていたり、さびれていたりするものは買わないこと。製造年月日、JASマークの有無もしっかりチェックしてください。

缶詰にも保存期間があります。室温で貯蔵する場合、果物のシロップ漬けが4年、魚介類の油漬けや水煮、食肉加工品、野菜の水煮、米飯などは5年が目安です。

ところで、缶詰にも食べごろがあるのをご存じでしょうか。缶詰の多くは、製造されてから少し時間をおいたほうが味がなじんでおいしくなります。果物や野菜は半年から1年、ツナやイワシの油漬けは1年から2年くらいが食べ

缶詰の食べごろと 利用法

～残り物を捨てずに活用～

るです。

缶詰は室温で保存できますが、直射日光に当たると品質が変化するので要注意です。できるだけ温度変化のない、湿気の少ない場所がいいでしょう。

果物やみつ豆の缶詰は、冷やしていただくとおいしいものですが急いで冷やしたいときも、冷凍庫に入れることは避けましょう。缶が破裂することもあり、危険です。

缶詰の汁は、捨てずに有効利用できるものがあります。ツナ缶の汁はドレッシングに、野菜の水煮缶の汁はスープに、カニ缶の汁はみそ汁に入れると味に旨味がでます。

寒い日には、ツナ缶やサケ缶を使った鍋料理はいかがでしょう。この場合、臭みがでるので缶の汁は使わずに具だけを使います。白菜、ネギ、ほうれん草などの野菜と相性がよく、コクのある鍋が味わえます。



ペンネーム
シンフォニック

みんなの作品展!



4つ子の柿
堀 重信さん

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

「鏡開き」

「かがみ」は光の反射を利用して、姿や形を映して見る道具。語源としては、光の赫き(かがみ)を見る「赫見」の意、あるいはものの面影を見る「影見」の転とする説があります。

青銅など金属製のかがみ(鏡・鑑)は、中国から渡米したものの「鏡」は(鏡)の姿形(かたど)を映す金属器を指し、古くは金属の(かたど)水の入った(かたど)盤(かたど)をのぞく(かたど)鑑(かたど)が使われました。ガラスを用いた鏡がヨーロッパで普及したのは、17世紀以後のことです。

「知恵の鏡」は知恵のすぐれたことを鏡に例えた表現。また、「昔は今の鏡」と言えば、歴史上の出来事が、現代でもお手本となる意味に用いられます。

鏡のように円い大小の餅を重ねた「鏡餅」は、新年用の「お供え」。江戸時代から正月20日(のち11日)には、鏡餅を割って雑煮や汁粉にして食べました。「割る」の忌み言葉「開く」を使う「鏡開き」の風習は、今も行われています。

どんな意味?
こんな意味!!



青春トークリレー

第142走者

さ たけ あけ み
佐竹 昭美さん

坂崎区在住 24歳 会社員
身長 161^{センチ} A型
好きなタイプ 心の広い人
好きな芸能人 オダギリジョー

はじめまして、こんにちは。1月1日号第142走者ということで紹介していただき、とてもうれしく思います。実は私にまわってくるまでこの「青春トークリレー」というものがあると知りませんでした。まわってきてびっくりしました！周りの友だちが結構知っていることにもびっくりしました。

さて、季節も冬になりましてやっと(スノー)ボードの季節になりましたね！私はボードを始めて何年かたちますが、なかなかうまくなりません(泣)働いているとなかなか行くチャンスがありませんが、今年も上達するようにたくさん滑りに行きたいと思います！皆さんもぜひウィンタースポーツを楽しみましょう！！

来月号は唐澤 ^{からさわ} ^{きみひさ} 公寿さんです。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画情報課まで。



松ぼっくりを拾いに行こう！の巻
深溝学区でもデンソー寄りの山のふもとに建つ里保育園は、1年中自然を感じながら過ごすことができる保育園です。また、特に秋は子どもたちと散歩によく出かけ、自然物(木の実やつる)をいっぱい収穫しては製作を楽しんでいます。こんな自然いっぱいの中でも今年松ぼっくりの収穫が今ひとつということ、園外保育として坂崎の彦左公園に松ぼっくりを拾いに出かけました。小ささまざまな松ぼっくりをなんとダ

わんぱくぐら
「某月某日」
「里保育園」



松ぼっくりで作った干支飾り

ンボール3箱も拾って帰ってきました。「こんなにたくさんどうするの?」とびっくりされるかたもいるかもしれませんが、この松ぼっくりがあるんなものに姿を変えるのです。クリスマスツリーになったり、お正月の干支飾りになったり、しめ縄に華を添えたり...。さとっ子は、幸田町の良

さを感じながら育っているような気がします。異年齢保育に変わり、2年が過ぎようとしています。兄弟の少ない今、家庭では育ちにくい部分が園で育っている気がします。小さい子は大きい子にあげられて育ち、自分が成長すれば大きい子にしてみらったように年下の子に優しく、時には厳しく接しています。現在の19人の年長児が卒園してしまうと、来年度は年長児が6人となってしまいます。しかし、人数の少なさを感じさせない、たくましさのある年長に育つてくれそうな気がします。これも現在の19人の年長児たちのおかげだと思います。今年も元氣いっぱい、のびのび育てさとっ子

編集者のひとこと

新年、あけましておめでとうございます。本年も「広報こうた」をよろしく願います。

皆さんのお手元にこの広報が届くころには初詣を済ませてゆつくりしているのではないのでしょうか。初詣といえば、やはり願ひ事。家内安全、商売繁盛、合格祈願などいろいろあります。皆さんはどんな願ひ事をしましたか。私はやはり今年の広報制作の反省点を活かしてこんなお願ひにしたいと思います。「写真が上手に撮れますように」

(D) 広報を昨年4月から一部ですが担当させていただきました。以前から写真には興味があり、何枚かは表紙を始め皆さんのお目に触れることができたかと思ひます。文章の多い中で写真の訴えるものは非常に大きいと思ひます。今年も一度しかないシャッターチャンスを一枚の写真に活かし、何らかの感動を伝えていきたいと思ひます。(M)